しめんと致しました
組合なる町民諸君
政府の御用化せる暴力を防止しつゝ、応援団を徐々に解散して紛糾につきました
応援団が引上げてすくなるや迎へ入る組合は争議団の日程の一つである点等しら行
はしめず混乱のあく居所に乱入し争議団を解散さ命すると共に職る十名の乱撃を
加へて参りました 争議団としては手か掛でありうとかかる次のお自防かわ出ありま
せん よって自分達の身からのことでありますから不当防止として当然に自己防
衛の手段に出ました 彼らは十名程の負傷者を出したと申しますがそれは自ら招い
た種を自ら刈った結果に他なりません 争議の同志は之がために二十一名の多数が
ブタ箱の中に放りこまれたのでした
組合なる町民諸君 数次の乱斗は甚だ残念ながらさる御迷惑を与へて甚だ遺憾ではあ
りますがそれは全く権力を乱用し資本家の御用化した政府の積極的攻勢に包まれた
ものでありますから事態を諒とせられお宥すを致したいと存じます
或は争も今後為激化して行くでありませうか示小の態度は依然一歩変らないのであ
ります その全責任は資本家の利益のために[illegible]を加へんとする政暴化した
政府の責物にあることを訴へざるを得ません 是非諸君の御諒察を致へ乱は斗志は
益々に燃え盛するのであります
敢て町民諸君に檄す
一九三〇、九、九
関東金属産業労働組合
鋼板工場争議団

戦闘的全国労働者諸君に檄す

去年五十日ある横暴極る[illegible]抜剣出動[illegible]同志は当然階級の狂暴的弾圧の先
を浴びその数百数十名の犠牲者を出しつゝ、ある[illegible]鋼板の争議団は大胆に組合に敏速に
最後の勝利に向って戦ひぬきつゝある[illegible]
全市の同志諸君! 九月八日夜それは[illegible]意義ある日であった 五百数十名の
同志は東京鋼板の争議を回救しようとするな[illegible]争議団を救へと松下三河島手拭会屋にある
数十名の同志は大泉貴三河島方面に集合し[illegible]との応援来や城西他菓子業者等十名
に満載し一里余り鋼板争議団本部へ向って勇敢なるデモを敢行したのだ
全市の同志諸君 アゴヒをかけたサーベル共は之を目のかたきにかかった 彼達の
決死的デモをづけつゝそしたか鋼板の暴虐する田島社長を葬れその手先番犬を
叩き殺せと絶叫しつゝ、応援斗士の頭上にフルヒ上って手を出すこともできすホンヤ
りと彼達の後からついてまたのだ 見ろ!! デモは町から町へと行進しながらサーベルの応
援はとどくやまった 無人の境を行くが如きデモも応援斗士[illegible]の苦闘と共に争議の弾圧
はれる赤旗の勇ましさ立つ士運合数多彼達の××目かきたが残があった
か初まってきやかった 婦女は一台つゝ敢商をありし[illegible]動きうたうなどか赤旗
をつルなどかぬかして彼等のデモを叩きつぶさうとした 乱斗は初まった 乱斗に
次ぐ乱斗を通して血に燃えた決死的応援斗士は[illegible]り大胆に血を流しながら
も鋼板の兇暴のパンを激に渡すなどかんじ[illegible]いて奴等への夜犬の防宮を撃破は
して東京鋼板の争議団本部に勢揃ひしたのだ 武蔵の涙と共に熱叫した争議団の万
才を浴びつゝ、応援斗士は鋼板会社をつっつかせ!、資本家に味方する夜犬を叩き殺
せと絶叫し赤旗の観を念願した 武装した夜犬十手を出すことが出来なかったか御
役目御苦労にも解散を命じやがった 出した争議の解散に彼等がどうして服従する
ものか 乱斗は再びくり返され混乱下本部にのり込んだ 白色夜犬は電灯を消されて
つクロ叩きにあったのだ 彼等はかツイに忠実に資本家に味方するとて決して彼達は恐
れない 彼達は最後の血さすら斗って飛躍的な斗争と勝利を戦ひとらんと邁進する
ことを全国の同志同志諸君に訴へるのだ

X